

投稿規定

1. 執筆要項

本誌は、仙台医療センターの病院誌として、仙台医療センターに関連する最新の診療情報を提供し、併せて国立病院機構、更には日本国内全般の医療情報を掲載する。投稿資格は特に定めないが、国内外を問わず、他紙への投稿中または掲載が決定している論文は受理しない。

論文の種類は、下記の通りとする。原則として、電子メールを用いて投稿する。体裁を大きく逸脱する場合（総文字数の超過、引用文献の超過など）や、7)のその他については、掲載の可否、論文の体裁などを投稿の都度編集委員会で判断する。

- 1) 総説：本文 8000 字程度（図表 10 点程度、引用文献 30 程度）
- 2) 原著：本文 8000 字程度（図表 10 点程度、引用文献 30 程度）
- 3) 症例：本文 6000 字程度（図表 6 点程度、引用文献 20 程度）
- 4) 短報：本文 4000 字程度（抄録は不要、図表 4 点程度、引用文献 10 程度）
- 5) 報告：本文 4000 字程度（抄録は不要、図表 4 点程度、引用文献不要）
- 6) レター：本文 1000 字程度（抄録は不要、図表 1 点以内、引用文献 3 以内）
- 7) その他

2. 採否の決定

論文の採否は編集委員会で決定する。原著・症例・短報についてはすべて査読を行う。他のカテゴリーについては必要に応じて査読を行う。査読の結果をメールにて執筆者に連絡する。査読後の再投稿は 4 週間以内に行う。執筆者は査読者に対して修正・削除・加筆箇所の説明、および査読者から質問に対する返答を記載したうえで、再投稿原稿の修正箇所にアンダーラインを引く、赤字にするなど、どのように修正したのかわかりやすく明示すること。なお、査読結果の連絡後、3 カ月を経過しても執筆者からの再投稿または連絡がなかった場合は不採用とする。

3. 書式

使用するワープロソフトは MS Word を、図表は MS PowerPoint を推奨する。文書ファイルと 図表ファイルは別個とし MS Word に図表を記入してはならない。図表ライニアートには鮮明な太い線を、文字に 20 ポイント以上のサイズを用い、日本語フォントは MS 明朝に、英文、数字フォントは Century を推奨する。データ容量が 2MB を超える場合は、CD-R などにデータを入れて郵送する。

タイトルページに記載する事項

論文タイトル（和文表記）

ショートタイトル（タイトルを短縮したもの、20 字以内、和文）

著書名と所属（和文表記）

キーワード（5 つ以内）

連絡先（名前、所属、住所、TEL、FAX、E-mail 等）

抄録（600 字以内、和文）

4. 本文、図表の表記

研究論文の場合は、抄録（目的、方法、結果、結語）、本文（緒言、方法、結果、考察、結語）、参考文献、表の説明、図の説明の順に記述する。症例報告の場合には、緒言、症例、考察、結語、文献、図の説明、表の説明の順に記述する。やむを得ない場合を除き、和文表記を原則とする。日本語化した外国語はカタカナで書き、人名、地名、薬品名などは原語を使用する。単位は mg, kg, min などメートル法表記に従う。算用数字と外国語文字（病名、一般薬品名等）は、固有名詞と文頭の場合を除き、すべて半角小文字を使用する。日本語文末の句点は「.」ではなく「。」を用いる。読点は「,」ではなく「、」を用いる。

5. 略語について

可能な限り略語は使用しない。やむを得ず使用する時には、初出箇所で内容を明記する。

6. 文献

引用順に記載する。本文中では右肩に番号を付け、文の最後に例に準じて記載する。

著者、共著者 3 名までは全員記載する。4 名以上の場合は 3 名まで記載し、「他」「et.al.」とする。ページ数は最初と最後のページを記載する。英文文字、記号は全て半角文字を使用する。和文雑誌、和文書籍の文字間には大角記号（「、」や「：」等）を使用する。

英文雑誌（執筆者、タイトル、雑誌名、発行年、巻、頁の順）

- 1) Herman R, Mayer N, Mecomber SA, et. al. Clinical pharmacology of dantrolene sodium. Am J Phys Med. 1972;51:296-311

英文書籍（章の執筆者、章のタイトル、編集者、書籍のタイトル、出版社の所在地、出版社、発行年、頁の順）

- 2) Franz MR. Monophasic action potential mapping. In Shenasa M, Borggrefe M, Breithardt G, eds. Cardiac Mapping. New York: Futura;1993;pp565-583

和文雑誌（執筆者、大角コロン、タイトル、雑誌名、発行年、巻、頁の順）

- 3) 斎藤典子, 尾上紀子, 田中光昭、他：アナフィラキシーショックによって誘発された冠動脈攣縮の 1 例. 呼吸と循環 2008;56:1071-1075

和文書籍（編集者、大角コロン、書籍のタイトル、出版社の所在地、大角コロン、出版社、発行年、頁の順）

- 4) 宮村実晴編：運動と呼吸 東京：真興貿易医書出版部 2004;pp66-67

Web サイト（著者（組織）名、ページタイトル、http アドレス、参照日時）

5) World Health Organization. WHO Statistical Information System(WHOSIS).

<http://www.who.int/whosis/en/>: 8 Dec 2010

6) 中條武志：ものづくり・サービス提供におけるヒューマンエラーの防止

<http://www.indsys.chuo-u.ac.jp/~nakajo/open-data/pokayoke.pdf>: 12 Jan 2011

7. 引用、転載、著作権について

他の文献から文章・図表などを引用転載する場合は、前もって著作者の了解を得ること。著作者との交渉は、投稿者の責任において行う。本誌に掲載された著作物の複製品・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は、仙台医療センターに譲渡されたものとする。

8. 倫理性への配慮ならびに個人情報保護

研究内容は必ず、倫理性に配慮する。検査結果など患者情報の記載がある内容については、患者の個人情報保護に十分配慮し執筆する。

9. 利益相反 (conflict of interest:COI) について

投稿に当たっては、別途定める書式によって、筆頭著者の COI 状態を自己申告するとともに、COI 状態を、本文の最後に明記すること。但し、5)報告、6)レターにおいては必要としない。

例) 本論文の発表に関して開示すべき COI はありません。

10. 校正要領

著者校正は初回 1 回のみ行う。それ以降の校正は編集長の責任において行う。

11. カラー図表

本誌は紙印刷版と Web 公開版の両者を出版する。Web 公開版はカラー図表の掲載が可能である。紙印刷版においては、カラー図表が白黒印刷に変換されることもある。

12. 投稿原稿の送り先

仙台医療センター医学雑誌編集長 和泉 透

（事務局 仙台医療センター庶務班長）

983-8520 宮城県仙台市宮城野区宮城野 2 丁目 11-12

TEL: 022-293-1111

FAX: 022-291-8114

E-mail: izumi.toru.fz@mail.hosp.go.jp

附) この投稿規定は、2025 年 9 月投稿分から適用する。

受付番号：
受付日： 年 月 日

利益相反(COI)報告書

仙台医療センター医学雑誌編集長 和泉透 殿

筆頭著者名	
論文題名	

1) 外部活動(所属機関外での兼業。ただし、診療活動を除く。)

外部活動の有無	有・無 (該当するものに○) (有の場合のみ、企業・団体ごとに記載)
企業・団体名	
役割(役職名、代表権の有無)	
活動内容	
活動時間(時間／月)	

2) 企業・団体からの収入(診療報酬を除く。複数の場合、列記する。)

収入の有無	有・無 (年間の合計収入が同一組織から100万円を超える場合、有に○) (有の場合のみ、企業・団体ごとに記載)
(1) 企業・団体名	
報酬・給与	万円／年
原稿料	万円／年
その他贈与・寄附金	万円／年

私の上記論文にかかるCOI(利益相反)に関する状況を、上記のとおり報告します。

報告日：令和 年 月 日

研究者署名：_____

注：

1) 報告日以前1年間の活動・報酬について記載すること。